



2016年8月に幕張メッセで開催された大規模コンサートへの麻疹(はしか)患者の来訪や、関西国際空港職員の麻疹(はしか)発症など、最近TVや新聞で麻疹(はしか)についての話題がとりあげられています。各地での発生、増加が懸念されている麻疹(はしか)について、今回は特集いたします。



## 麻疹(はしか)って?

日本では一般的に、「はしか」の名で知られている麻疹とは、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。

麻疹は感染症法に基づき5類感染症全数把握疾患として指定されています。(全ての医師が、全ての患者の発生について届出を行う感染症で、患者が発生するたびに、診断した医師が最寄りの保健所に届け出る必要があります。)ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると90%以上が発症すると言われています。また、一度感染して発症すると一生免疫が持続するとも言われています。

## 麻疹(はしか)の症状

感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水などの風邪のような症状が現れます。そして発熱が2~3日続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

また、肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1000人に1人と言われ、肺炎と脳炎が麻疹の二大死因であり、注意が必要です。

## 麻疹(はしか)の予防

麻疹は感染力が強く、空気感染もするため、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻疹ワクチンの予防接種が有効な予防法だといえます。

また、麻疹の患者さんに接触した場合、72時間以内に麻疹ワクチンの予防接種をすることも効果的であると考えられています。接触後5~6日以内であればγグロブリンの注射で発症を抑えることができる可能性もありますが、安易にとれる方法ではない為、かかりつけ医師との相談が必要です。最近では、成人の麻疹患者の割合が増加しており、定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻疹の罹患歴や接種歴が明らかでない場合は予防接種の検討がおすすめです。

## ● 一般社団法人 日本環境感染学会 WEBサイトより抜粋 ●

麻疹(はしか)は、感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こし、先進国でも約1000人に1人が死亡するとされる感染症です。かつては、国内で多数の患者が発生していましたが、予防接種の強化により、近年、患者が激減し、2015年には世界保健機関(WHO)から麻疹排除認定を受けました。しかし、海外からの持ち込み症例を発端とした流行はしばしば発生しており、油断できない状況です。

## 麻疹(はしか)と風しん(3日ばしか)

どちらも子供の頃にかかりやすい感染症で、主な症状として発熱と発疹が出ます。

風しんは、麻疹(はしか)に症状が似ていることから「3日ばしか」と呼ばれることもあり、しばしば麻疹と混同されます。実際には、病原体が異なる別の病気になります。

(麻疹は麻疹ウイルス:パラミクソウイルス科モルビリウイルス属、風しんは風しんウイルス:トガウイルス科ルビウイルス属)

風しんは、飛沫感染、接触感染する感染症で、麻疹に比べ感染力は強くありません。ただし、妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性がある為、男女ともにワクチンの接種を受けておくことが推奨されます。ワクチン接種については、前述の通り、麻疹と風しんでワクチンが異なるため注意が必要です。

※麻疹の予防接種として、MRワクチン(麻疹風しん混合ワクチン)があり、単独のワクチンと同様の効果が期待されています。風しんの予防にも繋がりますが、「生ワクチン」という種類のワクチンになるため、妊娠している女性は接種を受けることができません。また、接種後2か月程度の避妊が必要となります。

## ● +αの予防策 ●

予防注射に加えて、麻疹(はしか)の接触感染の予防には、弊社の「防菌ウェットワイパー」がおすすめです。

ドアノブやテーブル・手すりなど、気になる箇所をサッと拭き取り。麻疹ウイルスに有効な、Etak®の防菌・防ウイルス作用が長時間持続します。(※約72時間)

### Pro+ 防菌ウェットワイパー

バケツタイプ ¥6,000 (税別)  
詰替用 ¥5,000 (税別)



大阪 大阪府東大阪市本庄西1-5-1  
本社 Tel 06-6748-8468  
Fax 06-6748-8469

東京支店 Tel 03-5652-5858 Fax 03-5652-5889  
福岡支店 Tel 092-441-5599 Fax 092-441-6040